

平成30年度 子宮がん検診のご案内

がんは国において死亡原因の第1位ですが、診断と治療の進歩により、早期発見、早期治療が可能となってきました。がんは、現在、約50%のかたが治るようになりました。初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで、非常に高い確率で治癒します。がんを初期の段階で見つけるために、町で実施する女性特有のがん検診をご案内します。

■ 子宮がん検診

佐用町では、検診車を検診会場に配車して行う集団検診と町内の検診実施医療機関（佐用共立病院）で受けていただく個別検診を実施しています。

● 集団検診

【 対 象 】 満20歳以上の女性(検診日現在)

【 検診日程 】

検 診 日	申込締切日	検診会場	検診時間	定 員
平成30年 8 月 6 日 (月)	6月21日(木)	申込み受付を終了しました		
平成30年 8 月 20 日 (月)	6月28日(木)			
平成30年 11月12日(月)	9月20日(木)			
平成30年 12月 3 日 (月)	10月18日(木)			
平成31年 3 月 4 日 (月)	31年1月24日	南光文化センター	13:30~15:30	90名

※ 申込締切日までに定員に達した場合には、申し込みを締め切らせていただきます。

お早めにお申し込みください。

【 料 金 】 1,000円 (70歳以上のかたは 無料)

※ 「無料クーポン券」の対象のかたは、クーポン券を送付しています。
対象者については、次ページをご覧ください。

【 申込方法 】 下記の申込書に必要事項をご記入の上、健康福祉課（役場第一庁舎西館）、各支所・出張所に、提出してください。
また、電話・FAXでのお申し込みは、健康福祉推進室までお願いします。
※ FAXでお申し込みの際には、既に定員に達している日を希望されている場合があります。FAXが届いたかどうかを含めて、電話での確認をお願いします。

【 お問い合わせ 】 健康福祉課 健康福祉推進室 電話 82-0661 FAX 82-0144

平成30年度 子宮頸がん検診 集団検診申込書 (申込日: 月 日)

ふりがな 氏 名	郵便番号・住 所 電話番号	生年月日 (年齢)	子宮頸がん 検診希望日
	〒 679- 佐用町 番地 電話番号	昭和 平成 年 月 日	月 日
保険証区分	町国保 ・ 後期高齢 ・ 他保険 ・ 生保	(満 歳)	受診対象は満20歳以上

平成30年度 子宮頸がん検診 集団検診申込書 (申込日: 月 日)

ふりがな 氏 名	郵便番号・住 所 電話番号	生年月日 (年齢)	子宮頸がん 検診希望日
	〒 679- 佐用町 番地 電話番号	昭和 平成 年 月 日	月 日
保険証区分	町国保 ・ 後期高齢 ・ 他保険 ・ 生保	(満 歳)	受診対象は満20歳以上

● 個別検診

子宮頸部の検診に加えて、子宮体部の検診を受けることも可能です。

【 対象 】

満20歳以上の女性

(今年度に集団検診による子宮頸がん検診を受診されたかたは、対象となりません。)

【 検診実施医療機関 】

佐用共立病院	佐用町佐用1111番地	電話 82-2321
--------	-------------	------------

※ 婦人科診察日：火曜日、木曜日

【 料金 】

頸部検診 1,400円 頸部及び体部検診 3,200円

70歳以上のかたは、どちらの検診を受けても無料です。

※ なお無料クーポン券の対象のかたには、頸部検診を無料で受診できるクーポン券を後日、送付します。ただし、頸部及び体部の検診を希望されるかたは、差額分 1,800円の料金が必要です。

【 申込方法 】

検診日時や時間など、各自で直接、医療機関に確認し、予約してください。

★★ 無料クーポン券送付対象者 ★★

平成30年4月20日時点で、佐用町に住所を有するかたで、次の条件に該当するかたです。
年齢は平成30年4月2日時点での満年齢で表記しています。

対象年齢	対象生年月日	対象条件
20歳	平成 9 年 4 月 2 日～平成 10 年 4 月 1 日	全 員
21歳	平成 8 年 4 月 2 日～平成 9 年 4 月 1 日	左記の年齢のかたで、前年度（平成29年度）に子宮頸がん検診を受けたことのないかた
22歳	平成 7 年 4 月 2 日～平成 8 年 4 月 1 日	
23歳	平成 6 年 4 月 2 日～平成 7 年 4 月 1 日	
24歳	平成 5 年 4 月 2 日～平成 6 年 4 月 1 日	

★★ 豆知識 ★★ (厚生労働省「がん検診手帳」より抜粋)

「子宮頸がん」ってどんな病気？ 子宮頸がん検診は効果的です!!

子宮頸がんは、子宮の入り口である子宮頸部の表面の細胞にがんができる病気です。子宮頸がんは日本では年間約33,000人が発症し、約2,900人が死亡しているがんであり、女性特有のがんの第3位の発症率となっています。子宮頸がんは、初期には症状がほとんどなく、自覚症状があらわれる頃には病状が進行していることが少なくありません。しかし、子宮頸がん検診を受けることで、がんになる前の正常でない細胞の段階で発見することも可能です。子宮頸がん検診の効果のほどは実証済みで、欧米では、8割以上の女性が検診を受けているほどです。検診は、ヘラやブラシなどで子宮頸部の細胞をこすり取るだけで、少し出血する可能性はありますが、痛みを感じることは少ないです。検診を受けることは子宮頸がん予防と早期発見への第一歩です。面倒だから恥ずかしいから・・・とためらわず、20歳を過ぎたら、2年に1度、継続的に検診を受け続けることが大事です。